

《佳作》

富小学校六年 難波 勇次
○新しいのねこの名前はホタテだよ父がつけた名なんですうなる

《宇佐見賞》

鶴喜小学校五年 牧田 花梨
○お母さん宿題しろと言うけれどやりたくないなやる気がでない

《中学生の部》

《入選》

鏡野中学校二年 小椋 匡樹
○なあ匡樹お前は進路どうすんだそういう声が心に響く

《佳作》

鏡野中学校二年 杉山 広樹
○ライバルが前走っている悔しさでスビード上げる最後のコーナー

鏡野中学校二年 田中 伽月
○風が吹き緑側にある風鈴がチリンと鳴ってまた夏が来る

《宇佐見賞》

鏡野中学校二年 葉廣 琉生
○けんめいに板書をうつすその顔はいつも以上にかわいくみえる

俳句の部

《小学生の部》

《入選》

南小学校五年 平井 仁也
○冷蔵庫開けていいのは顔の幅

《佳作》

奥津小学校六年 赤坂 杏菜
○かき氷水の音が聞こえるよ

南小学校四年 池田 歩夢

《宇佐見賞》

富小学校二年 さこ あさき
○川の中いきつぎしたらアユにげた

《中学生の部》

《入選》

鏡野中学校三年 高木 慎ノ介
○蒲公英は姿を変えて旅に立つ

《佳作》

鏡野中学校三年 中島 潤紀
○かき氷食べてカラフルあっかんべー

《宇佐見賞》

鏡野中学校三年 工藤 雅斗
○あと一つそのかけ声とみな汗

川柳の部

《小学生の部》

《入選》

鶴喜小学校六年 宗元 優絆
○本物だ教科書で見た法隆寺

《佳作》

鶴喜小学校三年 内山 夏希
○えんぴつはスラスラ書けるいい気持ち

上齋原小学校四年 山口 巧
○カッターでみんなだんけついち・に・さん

《宇佐見賞》

鶴喜小学校六年 正影 聖人
○金閣寺鏡の池にもう一つ

《中学生の部》

《佳作》

鏡野中学校二年 北山 あいな
○まけかち自分で決まるプレッシャー

鏡野中学校二年 筆保 心春琉
○この大会みんなの音が響くとき

《宇佐見賞》

鏡野中学校一年 小椋 苺華
○相手より私の敵は太陽だ

第二十二回 香々美川

文芸選奨入賞作品

短歌部門

《大賞》

美作市 豊福 恭子
○谷川のたそがれ時のしまらくを河鹿鳴きをり闇やはらげ

《香々美川賞》

美作市 豊福 恭子
○まろき石平たき石の累累と河原に熱き陽炎の立つ

《優秀賞》

美作市 小林 智恵子
○秒速は「三十万軒」にて宇宙より言祝ぎ給ふや元朝の光彩

《奨励賞》

美作市 出平 朱美
○青田より北にながむる那岐山は紺碧色してゆるりと聳ゆる

《宇佐見賞》

岡山市 山崎 佳奈子
○ゑのころ草にくすぐられつつ立ちつくす放置田に「管理物件」の札

俳句部門

《大賞》

玉野市 三好 一彦
○づかづかと日の昇りくる大暑かな

《香々美川賞》

津山市 畑 佳余子
○大海を目指す清流ラムネ瓶

《優秀賞》

鏡野町 中谷 淳子
○水澄むや碗の欠片に小宇宙

《奨励賞》

玉野市 十河 清
○丸い地球丸く使つて鳥帰る

《宇佐見賞》

津山市 伊藤 和代
○里山はまだ浅き息立夏かな

川柳部門

《大賞》

岡山市 山崎 三千代
○清流が守る肥沃な里の秋

《香々美川賞》

鏡野町 釣狂 (高田惇三)
○灼熱に耐えて黄金の秋を待つ

《優秀賞》

岡山市 宮本 信吉 (宮本信吉)
○夕暮れの棚田が話しかけてくる

《奨励賞》

久米南町 中力 美美子
○この道を行けば逢えるか萩の花

《宇佐見賞》

岡山市 岩崎 弘舟 (政弘)
○風に酔い風にさからふ秋桜

お問い合わせ先

鏡野町文化協会事務局
電話(0868)5410573